

今週のお祈り
聖霊降臨後第9主日特祷(特定14)

永遠にいます全能の神よ、わたしたちに信仰
と望みと愛とを増し加え、またあなたが約束し
てくださるものを得るためにあなたが命じら
れることを愛させてください。主イエス・クリ
ストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外262

発行日
2025年
8月10日

8月は平和への願いを新たににする1ヶ月。教会では8/6(水)、8/9(土)、8/15(金)に鐘を鳴らして平和の祈りを
ささげます。世界中で争いがなくなり、人々の間に平和がおとずれますように。平和の器としてください。



今週の聖書 ルカによる福音書 12:32-40
32 小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神
の国をくださる。 33 自分の財産を売って施しなさい。古

聖書からのメッセージ

『神様の時』主教 高橋 宏幸

福音書の最後に「時」という言葉が出て
きますが、その「時」とは神様の働きが
ある状態のことです。この神様の働き
を早い時点で見抜いていた一人の人物マ
リアがいました。天使ガブリエルからの
第一声は「おめでとう、恵まれた方」「恐
れるなマリア、あなたは神からの恵みを
いただいた」でした。そして、マリアは
「私は、主にお仕えする者です」と主に
仕えることを喜び感謝して受け止め、そ
れに従い始めました。それこそが、マリ
アへの祝福でした。マリアの「神様の時」
を見分ける姿は「平和」の問題にも大き
く繋がっているということも併せて、心
に刻み付けたいものです。

びることのない財布を作り、尽きることのない宝を天に積みなさい。
そこは、盗人も近寄らず、虫も食い荒らさない。 34 あなたがたの宝の
あるところに、あなたがたの心もあるのだ。」 35 「腰に帯を締め、灯を
ともしていなさい。 36 主人が婚礼から帰って来て戸を叩いたら、すぐ
開けようと待っている人のようにしていなさい。 37 主人が帰って来た
とき、目を覚ましているのを見られる僕たちは幸いだ。よく言ってお
く。主人は帯を締めて、その僕たちを食事の席に着かせ、そばにして
くれる。 38 主人が真夜中に帰っても、夜明けに帰っても、目を覚まして
いるのを見られる僕たちは幸いだ。 39 このことをわきまえていな
さい。家の主人は、盗人がいつやって来るかを知っていたら、みすみす自分
の家に忍び込ませたりはしないだろう。 40 あなたがたも用意していな
さい。人の子は思いがけない時に来るからである。」